

<参考4>

【様式1】

## 概要書

研究名	RC造建物解体作業の技能要素分析に関する調査研究
民間機関等 (相手方)の名称	公社) 全国解体工事業団体連合会 会長 井上 尚

<p><b>研究の概要</b></p>	<p>1. 目的</p> <p>40年ぶりに建設工事業に解体工事が新設され、維持更新時代に対応した適正な施工体制の確保を行わなければならないとされている。そのためには新規入職者の確保と解体技能労働者の人材育成が不可欠である。新規入職者が、早期に解体現場で活躍するには技能者自らが仕事に使用する頻度が高い技能要素を把握し、頻度の高い技能から取得することが重要であると考え。また、熟練技能者になるために必要な各技能の大まかな習得時期を、新規入職者に予め示し、キャリアプロセスを明示することで技能者の学習意識向上を図ることができると推測する。</p> <p>そこで、本研究では、現場調査と事業所および熟練技能者へのアンケート調査を通じて、解体技能者に必要である技能要素とその理想的な習得時期を明らかにすることを目的とした。</p> <p>2. 研究内容</p> <p>本研究では、以下の①～⑤に示す内容に沿って調査研究を実施する予定であった。しかしながら、コロナ禍の影響により、工事現場等の立ち入りが困難な状況となり、調査が遅延した。現在、②の解体工事現場の調査まで完了している。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>① 解体工事に関する文献調査</li><li>② 解体工事現場調査</li><li>③ 現場調査の分析と作業要素の抽出検証</li><li>④ 検証</li><li>⑤ まとめ</li></ul> <p>3. 研究成果</p> <p>現在までに得られた①②の研究成果について以下に示す。</p> <p>①解体工事に関する文献調査</p> <p>文献調査並びに工事関係書類（施工計画図書など）を調査し、解体工事業に必要な技能要素について抽出した。</p> <p style="text-align: center;"><b>調査時期 令和3年3月</b></p>
---------------------	--

## 研究の概要

### ②解体工事現場調査

以下に示す解体現場 4 件について調査し、作業の動画撮影ならびに可能であれば、解体技能者にヒアリング調査を実施した。

#### ・調査した解体工事現場

- 1) 和歌山ポリテクセンター建替工事（上屋解体、定点カメラ）
- 2) 大阪五条宿舎（上屋解体、現場調査）
- 3) 大阪桜島宿舎（基礎解体、現場調査）
- 4) 大阪五条宿舎（既存杭引き抜き工事、現場調査）